

令和2年度（令和2年度補正予算）

林業経営体・林業労働力強化対策のうち 林業労働力強化対策事業概要

1. 事業の目的

総合的なTPP等関連政策大綱を踏まえ、新たな国際環境の下で強い農林水産業の体質強化対策が必要となっています。

林業においては、原木供給の低コスト化を含めて合板・製材の生産コスト低減を進めて競争力の強化をはかることが求められています。

林野庁は体質強化計画⁽¹⁾に参画する選定経営体等⁽²⁾に対し、国際競争力強化などを見据えた経営体の強化対策と、安全で衛生的な職場づくりを通じた林業労働力の確保に向けた取り組みを推進しています。

本事業は体質強化計画に参画する選定経営体等を対象に、林業労働安全衛生に資する安全衛生装備・装置導入経費補助と労働安全衛生に関する研修経費補助を行って、安全で衛生的な働き方改革を実践する職場

づくりを推進し、林業労働力の確保に向けた取り組みを目的としました。

なお、事業の実施にあたっては、林業労働安全衛生についての知見を有する学識経験者等で構成した企画運営委員会を設置して、事業方針と導入する安全衛生装備・装置の内容・普及啓発の方法、ならびに研修方法などについて企画検討を行って事業を推進しました。

- (1)【体質強化計画】川上から川下の関係者が共同して作成する加工施設の整備、原木の安定供給等に関する計画
- (2)【選定経営体等】効率的かつ安定的な林業経営や林業経営の継続性の確保を目指す林業経営体として、林野庁長官が別に定める考え方（「林業経営体の育成について」（平成30年2月6日付け29林政経第316号林野庁長官通知））に基づき都道府県知事が選定した林業経営体

林業経営体等を行う選定経営体の皆さまへ
安全衛生装備・装置の導入＋安全衛生に関する研修費用を
50%補助します!

安全衛生装備・装置の導入経費補助
補助率 50万円
研修費用の補助率
補助率 400万円

補助対象
安全衛生装備・装置の導入経費
研修費用

補助対象外
安全衛生装備・装置の導入経費
研修費用

令和2年度林業経営体・林業労働力強化対策のうち林業労働力強化対策事業告知を行ったチラシ

目次：

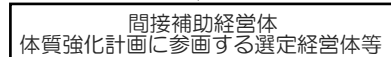
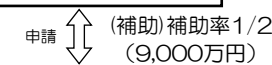
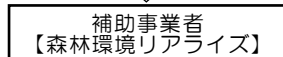
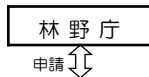
- 1. 事業の目的 1
- 2. 事業概要と予算・申請者 1
- 3. 導入された安全衛生装備・装置の概要 2
- 4. 実施した安全衛生に関する研修の概要 2

2. 事業概要と予算・申請者

1) 事業概要

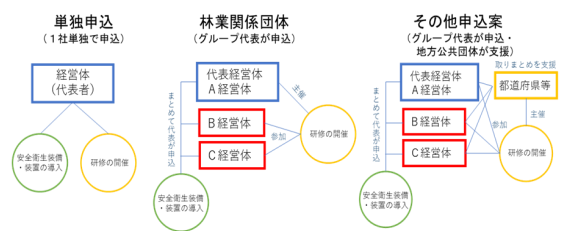
体質強化計画に参画する選定経営体等を対象に、安全衛生装備・装置の導入および労働安全衛生に関する研修をセットで行う経費の1/2補助を行いました。

事業期間は令和3年3月1日から開始して令和4年1月21日に公募を締め切りました。



補助予算は9千万円で、1団体あたり事業費400万円以内（補助率1/2以内）で行いました。

補助事業申請の単位



事業選定した道府県 事業選定経営体等の数



交付先と件数	
市町村	1
公社・公団・NPO	4
森林組合・連合会	31
協同組合	2
株式等民間企業	29

事業名：令和2年度合板・製材・集成材国際競争力強化・輸出促進対策のうち林業労働力強化対策事業
監督機関：林野庁林政部経営課 林業労働・経営対策室
補助事業者：(株)森林環境リアライズ
https://www.f-realize.co.jp
anzen@f-realize.co.jp

3. 導入された安全衛生装備・装置の概要



防護ズボン



林業用の目立つ色合いの防護衣



イヤーマフ・フェイスガード付ヘルメット



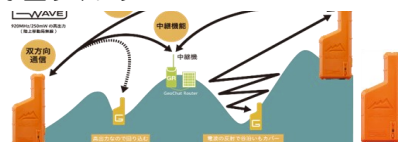
防護ブーツ



かかり木処理小型ウインチ



空調服



ジオチャット

導入した防護装備は防護ズボン、防護ブーツ、イヤーマフ・フェイスガード付ヘルメット、防振耐切手袋などです。安全衛生装備では空調服、蛍光ベストなど、安全衛生装置では無線機、衛星電話、ジオチャット、かかり木処理用の小型エンジンウインチ、スーパー繊維ロープ、植栽補助機などです。その他では、急峻地の安全な森林調査用のレーザー測量機、AED、目立て機などが導入されました。

導入された安全衛生装備・装置品と導入数

安全衛生装備・装置品名	個数	安全衛生装備・装置品名	個数
防護ズボン (class1以上)	465	かかり木処理道具	86
チャップス (class1以上)	60	スーパー繊維ロープ	36
防護ブーツ (class1以上)	171	ハーネス/ランヤード	12
安全靴 (JASS A規格)	99	伐倒補助装置	15
ヘルメット (フェイスガード・イヤーマフ付)	698	燃料容器 (消防法適合品)	55
防護衣 (林業用目立つ色合い)	375	特殊枝打ち一連軽量梯子	2
空調服	465	植栽補助機	2
蛍光ベスト	36	刈り払い機研磨機	4
レインウェア (林業用目立つ色合い)	446	林業労働災害防止VR機材	2
吸汗速乾インナー	179	レーザー測量機器	9
衝撃吸収・足圧軽減インソール	86	担架	37
安全メガネ	2	救急セット	61
防振・耐切創手袋	210	自動体外式除細動器(AED)	13
無線機	116	気象予測システム (リース)	1
衛星電話	2	安全指導記録システム	2
Bluetooth イヤーマフ無線機	36	保冷剤冷却用充電式冷温機	4
かかり木処理ウインチ	16		

4. 実施された安全衛生に関する研修の概要

研修は国庫補助による安全衛生装備・装置の導入品の地域への普及啓発とともに、安全衛生に関する研修をとおして林業労働災害の撲滅を目的としています。

このため、安全衛生装備・装置を活用した研修会の開催は、地域の多くの林業経営体や行政機関の参画を得て開催するようお願いしました。なお、コロナウイルス感染症拡大に配慮して、Webや少人数のビデオ閲覧後にアンケートなどを提出する通信型・分散型研修も行っています。

1) ジオチャットのSOS発信訓練研修会

森林組合職員・市町職員・山林協会職員が参画して、導入したシステムの通信と緊急連絡模擬訓練などの研修を行いました。



2) 小型ウインチによるかかり木処理研修会

自治体・建築関係・林業関係者が参集して、導入した小型ウインチとスーパー繊維ロープを使用して、かかり木処理研修を行いました。



3) 伐採技術・労働災害防止研修

経営者・管理者・技能者46名で外部講師を招き、伐木のメカニズムおよび労働災害防止について、座学のほか、チェーンソー整備の実習などの研修を行いました。

